

第3章

研究報告

第3章 研究報告

1 研究体系（令和2年度）

区分	No.	研究課題	研究	県施策	共同研究機関	担当部
			年度	項目		
健康危機管理時の対応力向上に資する調査研究の推進	1	麻痺性貝毒に関する機器分析法の研究	R2	食の安全 安心の確保	水産技術センター	衛生科学部
	2	安全性審査済み遺伝子組換え大豆のLLS遺伝子及びRRS2遺伝子の定量分析法の確立	R2			
	3	食品中自然毒等の分析法に関する研究	R1-R2			
	4	残留農薬検査に係る前処理方法の検討	R2			
	5	レバーを含む食品の細菌検査で生じる遺伝子増幅阻害を軽減する手法の開発	R1-R2		栄研化学	検査部
	6	医療機関との連携による薬剤耐性菌の解析	H30-R2	地域の保健 医療体制の 確立		※ 保健科学部
	7	岩手県における小児呼吸器ウイルスの疫学に関する研究	R2			
	8	岩手県内の低年齢層におけるノロウイルス胃腸炎集団事例に係るノロウイルス感染症の疫学に関する研究	R2			
	9	いわて健康データウェアハウスをベースとした新たな情報収集から得られるデータの効果的な活用に向けた研究	R2			
行政課題・地域課題解決に向けた調査研究の推進	10	ウイルス媒介性節足動物(ヒスジシマカ)の生息に関する研究	R1-R2	地球温暖化対策の推進		地球科学部
	11	微小粒子状物質(PM _{2.5})の発生源解明に関する研究	R1-R2	多様で豊かな 環境の保全	国立環境研究所ほか	
	12	酸性雨による環境影響の総合的評価	R1-R2		全国環境研協議会 酸性雨広域大気汚染調査研究会	
	13	公共用水域の水質検査において大腸菌と誤判定される小型のコロニー(グラム陽性球菌)に関する研究	R1-R2			検査部

※新型コロナウイルス検査業務対応のため保健科学部の4題は年度途中で中止

区分	No.	研究課題	研究	県施策	共同研究機関	担当部
			年度	項目		
高度な分析機器を用いた新たな検査・分析法の開発	14	医薬品・生活関連物質の環境実態及び環境リスク解明に関する研究	R2	多様で豊かな環境の保全	国立環境研究所、韓国釜山大学校、岩手大学兵庫県環境研究センター、東京都環境科学研究所ほか	環境科学部
	15	畜産感染症の防疫に使用される陽イオン界面活性剤の分析法確立とこれを活用した環境水中実態調査	R2			
	16	生体試料中の薬毒物の分析法検討について	R2	治安基盤の強化		衛生科学部
本県の豊かな自然環境の保全に資する調査研究の推進	17	重要な絶滅危惧植物を存続させるための技術開発に関する研究	H29-R3	多様で豊かな環境の保全	環境省ほか	地球科学部
	18	イヌワシの生息数維持に向けた保全生態学的研究	H28-R2		東北鳥類研究所、京都大学野生動物研究センター、猛禽類保護ネットワーク、環境省猛禽類保護センター	
	19	ツキノワグマの個体群動態と将来予測手法の開発ならびに人里への出没メカニズムの解明	H29-R3		岩手大学、(合)東北野生動物保護管理センター	
	20	岩手県におけるニホンジカの個体数推定に関する研究	R2		岩手大学	
計 20 テーマ						